

2021年4月12日

神戸市が発行する「神戸市 SDGs 債」への投資について

大樹生命保険株式会社（代表取締役社長 吉村 俊哉、以下「当社」）は、このたび、神戸市（以下「同市」）が発行する「神戸市 SDGs 債」（以下「本債券」）への投資を実施しました。

同市は、2021年度から5か年の実施計画である『神戸 2025 ビジョン』（以下「同ビジョン」）に対し、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、SDG インパクト基準（事業向け）草案の基本的な考え方を踏まえ、同ビジョンが SDGs^(※)の達成に資するという旨の第三者評価を取得し、今年度発行するすべての神戸市債を『神戸市 SDGs 債』と銘打ち発行することとしています。

この取組みは、特定のプロジェクト、事業に留まらず、SDGs の達成に向けた発行体自身の実施計画に対し第三者評価を取得した上で、市場からの資金調達を行うものとなります。

当社では、過去にも環境債（グリーンボンド）や社会貢献債（ソーシャルボンド）、ESG 投信などへの投資を行ってきました。今後も引き続き生命保険会社としての社会的責務をふまえ、資産特性に応じて環境・社会・ガバナンスの課題を考慮した資産運用を行い、環境や地域・社会と共生し、経済・企業の安定的な成長と社会的価値の調和的な発展を目指します。

<本債券の概要>

名称	神戸市令和3年度第3回公募公債（30年）
発行体	神戸市
格付	AA+（R&I）
発行総額	250億円
償還期間	30年

(※) 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる加盟国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと。

以上